

ものがたりシナー

自分のものがたりをじょうがして書いて書かせてもらおう。

タイトル モモ ユニコーンのつをがしたに行く

じょうまりか

作

「おかしかし、小ねこの
のモモがいました。モモは、お
うちでたのくからしていまし
た。

ある日モモのおかさん

がびよう気にすこしてしま

ました。そこでびようくんに行

くことにしました。でも、お

かさんは、

今は、なおすことがでやない。
と言いました。なぜなら、

のびよう気をなおすのは、と
くべつななりよがひつよう

がです。とくべつななりよ
は、まぼろしのしまにあるユ

ニーグのつをつかて作る、お

くすりなのです。

「また、なあたなくすりか
なくて、まよな。

それでモモは、まぼろしのし
まに行つて、ユニコーンのつをが
して行くことにしました。

まずは、空のまぼろしのじまにつ
のボーに、
お空のまぼろしのじまにつ
れて、
と、三口いまいた。
それを聞いたボーは、
「へいよ。
と、たえました。
まぼろしのじまについたモ
モはすぐにつのを見つけま
した。やうこんだモモは、つのを
ひょうくんにもち帰りました。
しかし、そのつのは、やぎのつ
でした。だから、おくすりは作れ
ませんでした。モモが、かかりし
てからとおいやさんかユニコー
ンのつのは、じょしょとくれました。

ユニコーンのつのは、色はレインボ

で、うすまきの形でした。

モモは、まほうしのしま

に行きました。ところは

ジャイアントパンダに出会い

ました。なんとそのジャイアン

トパンダは、ユニコーンのつね

クレスをうけていました。

モモは、ジャイアントパンダ

に話しかけました。

「はじめまして。わたしはモ

モと申します。パンダくじの

首につけているユニコーンのつ

のネックレス、とてもすてき

だね。じつは、わたしのおかあ

さんかひょうきんなの。ひょう

いんに行つたり、おしゃせ

んがユニコーンのつのから、お

くすりを作らないとなお

ら、友といわれたの。だから

そのネックレスをわ

たしにもうえたらうれし

いな。

それを聞いたジャイアントパンダは、

それはいいへんだけね。でもか

んたんにはねたせないな。

だ、たらぼくの大すぎ、なジャ

ンケンをしてつ。が、だら

ぼくのユニコーンのつを

あげるよ。

そして、ニヒキは、ジャンケンをし

ました。だけどモモはまけてし

ました。モモは、とても

かなくなりました。どうして

もあきらめきれません。モモは

もう一回チャンスをください。ど

うかどうか、おねがいします。

とがなしうな顔で言いました。

したすると、ジャイアントパンダ

は、

「ようがなけたあと一回だけ

だよ。

と言いました。すると、モモがか

ちました。

モモはようへんをがよつへんにも
どりました。そしておひしゃべり
はすくにユニコーンのへんのお
くすりを作りました。その
おくすりをのんだおからせん
は、元気になりました。